

西本願寺の慶讃法要円成□1
 仏教いろは問答□2
 過疎問題とお寺、会計予算□3
 青色青光□4
 特集・慶讃法要団体参拝□6
 専如門主が「ご消息」発布□9
 響流十方、会計予算□10
 ニュースと催し□11
 つれもて聴こら□12



『紀伊国志所開会』に描かれた江戸時代後期の寛森御坊

2023年(令和5年)
 6月15日
 第135号

発行:「御同朋の社会をめざす運動」和歌山教区委員会 〒640-8053 和歌山市鷺森1番地 本願寺鷺森別院内 TEL(073)422-4677 URL http://saginomori.or.jp/

御影堂への入堂を待つ参拝者でにぎわう西本願寺(3月30日)



親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要円成

お祝いと感謝の30日間

西本願寺に国内外から7万5000人集う

本山・西本願寺で3月29日から5期30日間にわたり勤められていた「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」が5月21日、53座目となる法要で満座を迎えた。

ご満座の法要では専如門主が導師を務められ「新制御本典作法・第一種」をお勤め。専如門主は法要に引き続き「ご消息」を發布された(9面に全文)。

法要期間中、宗祖親鸞聖人(1173〜1262)の御真影(お木像)を安置する御影堂では午前10時からと午後2時からの一日二座(原則)の法要に毎座約1400人が参集。各教化団体の記念行事や協賛行事の参加者を合わせると、国内外から約7万5000人が西本願寺に集った。

和歌山教区14組からは合わせて1492人が参拝(編集部調べ)。

専如門主は毎座の「ご親教」で参拝者に語りかけられたが、教団の歴史を振り返り、「国家の植民地政策や戦争遂行に協力したり、また同朋教団を標榜するにむかかわらず、今日まで部落差別やハンセン病差別などの差別や偏見を温存したり、助長したりしてきました」と、過去の過ちを率直に認められたことは強い印象を与えた。

その上で、専如門主は今回の慶讃法要の意義を「いのちの尊厳と平等に基づき、他者への限らない共感を抱かれた親鸞聖人のお心に立ち返ることでありましょう」と述べられ、続けて「そのためには、私たち一人一人が、過去の過ちを繰り返すことのないよう歴史を振り返り、いのちの尊厳を傷つけ、妨げているものをしっかりと見抜いていかなければなりません」と、参拝者に自覚を促された。

「ご親教」のお言葉は本願寺新報6月1日号(9面から)〈6〉〈7〉〈8面に特集記事〉

若葉と純真の

仏教いろは問答

8

▽「他力本願」は他人の力をあてにする「よ」?



若葉



純真

高校からの帰り道、若葉は純真のいるお寺の前まで来ると、門をくぐり玄關の戸を開けて声をかけた――。

若葉 こんにちは。純真さんいますかあ？

純真 やあ、若葉さん、こんにちは。どうしたの。

若葉 この前「悪人正機」のことを教えてもらったときに、私と純真さんとは仏さまのイメージが全然違うと感じたのがずっと気になって来たんですけど。

純真 そう言ったね。仏さまというと、自分がお願いをするとというイメージだったのかな。

若葉 えっと…仏さまとか神さまってそういうものだと思ってました。うちは初詣に近くの神社へ行くん

ですけど、おさい銭を上げてお願いごとをするんです。

純真 やっぱりそういう感覚の人が多いのかなあ。

浄土真宗では阿弥陀さまという仏さまに手を合わせるんだけど、それは阿弥陀さまにお願いをするんじゃないかと、反対に阿弥陀さまがぼくたちに向けてくださってる願いを聞かせていたんだけどということなんだけど…

「他力本願」という言葉聞いたことあるよね。

若葉 あんまりいい意味の言葉じゃないですよ…。

純真 すいぶん誤解されたり間違ってる使われることの多い言葉なんだけど、若葉さんはどんなイメージを持ってるかかな？

若葉 自分では何もせず

に誰かがしてくれるだろうって考えたりする感じかな。

お母さんのご飯の手伝いをしなきゃいけないけど何とかなるか…とか、宿題とか自分の部屋の掃除もしなきゃいけないけど、誰かがしてくれないかな、もしかしたら純真さんなら代わりにしてくれるかもって思ったり

…その間私はゆっくり横になつておいしいお菓子でも食べてたいとか。

純真 ぼくがするの!?!…まあでも他力本願というところいうイメージなのかな。自分は頑張らずに他人の力をあてにするというか。

若葉 そうですよ。

純真 でもこんな場合にも使われるかもしれないね。これも間違った使い方なんだけど…例えば、Jリーグのその年の最終戦で2チームに優勝の可能性がある。先に試合を勝利で終えたAチームは、Bチームが負けるか引き分けるかで優勝が決まる。こんなときAチー

ムの試合を状況していたアウンサーが「これはもう他力本願しかないですね」と言ったとする。この場合の「他力本願」はどういう意味で使われているんだろう。

若葉 とにかく力は出し切ったんだから、あとはなるようになるしかないって感じかな。

純真 うんうん。それと頑張った分、もしかしたら状況が勝手に好転するかもっていう希望も含まれてるかもしれないね。どちらにしても共通してるのは「他力」に自分の願望を投影してるというか、自分の思いを重ね合わせてるってことじゃ

ないかな。

でも、浄土真宗でいう本来の「他力本願」の他力というのは、自分があてにするような他人の力とか何かよく分からない力のことじゃなくて、仏さまの力のことなんだ。といってもピンとこないと思うけど、仏さまは仏さまとしての願いを持っていてぼくたちにはたらきかけてくださってる、そのはたらきのことをいうんだよ。

若葉 仏さまの願い…それが「本願」ということ？

純真 うん。阿弥陀さまの願いは本願といって、その願いがかなわなかったらご自分は仏さまにならないとまで誓われた願いなんだ。その仏さまの願いがはたらきとしてぼくたちに向けられるというのが他力本願の本当の意味なんだけど。

若葉 願いはたらき…

純真 もしよかったら時間があるときに一度本堂に上がってみるかい？

若葉 いいんですか。

純真 お待ちしますよ。



イラスト
=いびりん

(本紙・辻本真一朗十六須賀拓善)

過疎問題とお寺⑧

「組活動推進事業」研修会

楠原 晃紹
(過疎対応支援員)



教区内の門徒総代さんなど39人が研修

2月19日、海南市冷水の了賢寺さま(松本教智住職)で開催された和歌山教区門徒総代会「組活動推進事業」研修会(海南組門徒総代会担当)に出席してお話をき

- ①人口減少と高齢化。
- ②「家」から「個」へ。
- ③伝統的宗教観の減退。
- ④世代間格差と貧困。
- ⑤簡素化・低コスト化が進む葬送儀礼。
- ⑥宗教法人への厳しい目。
- ⑦激甚化する自然災害。
- ⑧「あの世観」の変化。
- ⑨新型コロナウイルスの影響。
- ⑩なかでも「家」から「個」へというポイントは重要で、お寺も江戸時

「家」から「個」へ

お寺のあり方にも新しい枠組み必要

せていただく機会を頂きました。研修会では「これからも持続可能な寺院にしていくために…みなさんで一緒に考えてみませんか？」と題

代からの檀家制度に基づく「家」を単位にしたあり方から、「個人」に重点を置いた新しい枠組みへの変化が必要になってくるのではないかと申しました。

とつながるご縁に出会っていない方が多いというのが実態ではないかと思えます。研修会の最後には、少しでも参考になればと自坊の行事の一端を紹介しました。

の石焼き芋器で農家さんに頂いたコンテナ2つ分のサツマイモをきっちり温度管理しながら2、3時間かけて焼きますと、皆さん最高だと喜んでくれます。

て行っておりましたが、昨年は小学一年生の新入生がおられなかった。そこで近所の主婦の方でウクレレを弾いてCDを作っておられるという方に、お寺でコンサートをしてほしいと頼んだら、その方の子育て世代の間も大勢お参りに来てくれて、境内で菓子まきなどもしてにぎやかに過ごした—そんな自坊の事例にも熱心に耳を傾けていただいたことでした。

し、現代のお寺や僧侶を取り巻く状況や社会環境の変化を整理して、次の9つのポイントを挙げました。

あるアンケートによれば、宗教性を求める人の割合は減っています。特に20代から50代の方には希望の兆しがあります。お寺離れといいますが、そもそもお寺

自坊では大晦日の午後4時から小さいお子さんを対象にした「鐘つき大会」を開いておりますが、それに合わせて石焼き芋を振る舞っています。手製のドラム缶

4月8日はお釈迦さまのお誕生日をお祝いする「花まつり」を開催しています。花御堂を設置して、お釈迦さまがご誕生されたときにこれを祝って甘露の雨が降ったという故事に倣い、お釈迦さまの像に甘茶を掛けていただいております。例年は日曜学校の入学式も併せ

「新・祖蹟点描」はお休みします (日高組妙願寺住職)

2023(令和5)年度 和歌山教区一般会計歳計予算

2023(令和5)年4月1日
~2024(令和6)年3月31日

歳入の部

款	費目	予算額(円)	説明
1	教区賦課金	33,100,000	教区賦課金(276カ寺)
2	宗派交付金	2,130,000	宗派交付金
3	願記手数料	1,000,000	各種教区願記冥加金
4	回付金	3,000,000	
5	雑収入	2,306,000	行事参加費・預金利息等
6	繰越金	1,464,000	
合計		43,000,000	

歳出の部

款	費目	予算額(円)	説明
1	実践運動推進費	8,150,000	実践運動関係費、組助成費等
2	会議費	740,000	教区会・組長会、その他会議費
3	宗会議員事務費	50,000	選挙管理委員会開催費
4	教務所費	25,420,000	人件費※、事務費、諸費等
5	維持費	3,400,000	水道光熱費※、維持管理費※
6	回付金	3,560,000	各種特別会計へ回付
7	予備費	1,680,000	
合計		43,000,000	

※教区一般会計歳出の部の「人件費」「水道光熱費、維持管理費」は、鷲森別院一般会計歳入の部「回付金」「人件費負担金」へ回付されます。

⑩面の鷲森別院一般会計歳計予算も併せてご覧ください

鷺森別院で恒例の二尊会と降誕会

3年半ぶりに雅楽演奏が復活

鷺森別院では恒例の二尊会を5月13日から16日の4日間、宗祖降誕会を5月21日にお勤めした。

二尊会は、紀州門徒のよりどころである二尊像(宗祖親鸞聖人と蓮如上人連座の御影)を本堂内陣の右脇壇に奉懸してお勤め。お勤めあとは安德剛典師(大阪市)の法話を聴いた。

奏楽員3人が出勤した二尊会初日の法要



二尊会初日には、新型コロナウイルスのため2019年(令和元)11

月、宗祖降誕会は、宗祖親鸞聖人の誕生日を祝いお勤め。引き続き三浦良成師(有田北組極楽寺)の法話を聴いた。

月の報恩講を最後に取りやめになっていた雅楽演奏が復活、法要に花を添えた。二尊会期間中と宗祖降誕会開催日の午前は、和歌山

教区の各教化団体が総会を開催。13日は寺族女性会、14日は門徒総代会、15日は仏教壮年会、16日は仏教婦人会、21日は門徒推進員連絡協議会が、本堂で昨年度決算、今年度予算・行事などを熱心に審議した。

「孫市まつり」にぎわう

第19回孫市まつりが3月26日、鷺森別院を会場に開

かれた。孫市の会(森下幸生会長)が主催する「まつ



原田龍二さんが孫市を熱演した戦国野外劇(鷺森別院)

り」は、新型コロナウイルスの影響で2020年(令和2)は中止、2021年(令和3)はPR映像の撮影、昨年はようやく規模を縮小して開かれたが、今年はいよいよ2019年(令和元)から4年ぶりとなる従来の規模での開催となった。

小雨が降るなか本堂前で行われた「戦国野外劇」信長の野望を撃て!」では、初めての出演となる俳優の原田龍二さんが雑賀孫市を熱演。3000人の雑賀衆が10万人の織田信長軍と戦い打ち破るという物語が迫力満点に繰り広げられ、観客は真剣に見入っていた。鷺森別院南側の城北通りでは大筒(大口徑の火縄銃)による鉄砲演武が行われ、周囲に轟音が響きわたった。本堂では和歌山市立博物館学芸員の小橋勇介さんが「雑賀衆と鷺ノ森遺跡―紀州の戦国―」と題して講演。集まった歴史ファンらが雑賀衆の実像と鷺森御坊の歴史などを学んだ。



卒園式で讃仏偈をお勤めする園児

鷺森幼稚園 99人巣立つ

鷺森幼稚園では3月17日、鷺森別院本堂で卒園式を挙、卒園児99人が卒園証書を受け取った。卒園式を終えた園児たちは、4月からの新しい生活への期待を胸に思い出っばいの園舎をあとにした。

青色青光

「ゲートキーパー」について学ぶ

ビハール和歌山が研修



ビハール和歌山(吉田敬子会長)では2月17日に鷺森別院ホールで研修会を開催。会員・賛助会員12人が参加して、同じく会員の中田三恵さん(伊那組教善寺住職)の講義「ゲートキーパーについて」を聴いた。

会員の中田三恵さん(右奥)が講義

ゲートキーパーとは、自殺の危険を示すサインに気づき、声をかけ、話を聞き、必要な支援につなぎ、見守るといった適切な対応を図ることができ、相手のことを「命の門番」とも位置づけられている。中田さんは講義で次のように話した。――「死にたい」というのはどういう心の状態なのか。一

つのが起きてても、すぐ「死にたい・死ぬしかない」とはならないんじゃないか。でも、その問題を一人で抱えて、誰にも言えなくて、分かってもらえなくて、どんどん苦しくなると。居場所を失い、行き詰まり、追い込まれ、生きていくのがしんどくなったり、生きる先に希望がなくなる環境に置かれると、誰だって「逃がたい・消えたい・死にたい」という気持ちになるのではない。

言動や行動に変化が見られ、悩んでいるかもと気づいたら、声をかけて。話しやすい雰囲気をつくり、相手のタイムシフトに合わせながら丁寧にゆっくと耳を傾けましょう。安易な励ましよりも、「大変だったね。一人で抱えてきたんだね」と、ちゃんと認めねざらなくていい。決して否定したり先回りせず、相手の気持ちが置いてけぼりにならないように、いつでも味方であること。一緒に考えることが大事

つのが起きてても、すぐ「死にたい・死ぬしかない」とはならないんじゃないか。でも、その問題を一人で抱えて、誰にも言えなくて、分かってもらえなくて、どんどん苦しくなると。居場所を失い、行き詰まり、追い込まれ、生きていくのがしんどくなったり、生きる先に希望がなくなる環境に置かれると、誰だって「逃がたい・消えたい・死にたい」という気持ちになるのではない。

自殺防ぐ“伴走支援”

だが、相手の状態に合わせて支援につながる場合もある。情報提供は丁寧。ゲートキーパーはさまざまな支援先を知っておく必要がある。「あれからどう?」と回復をせかしたりせず、相手が自立していけるように忍耐強くサポートする。うまくいっていないときでも、相手の力を信頼して見守り

続けることが大事。何でも受け入れてしまうこと、答えを出してしまうことが優しさではない。全面的に頼らせて、後で無理と突き放す(見捨てる)ことほど酷なことはない。気持ちを受け取っていく受容と、何でも受け入れてかなえてあげることは違う。ゲートキーパーの役割を頭

に入れて、一緒に悩み、一緒に考えていく伴走支援が求められる。◆ビハール和歌山では、開催は6月25日、8月21日、12月4日、来年2月26日の午後1時30分から(8月のみ午後5時から)。前日までの申し込みが必要。

スカウト団員が鷺森別院で講習



和歌山教区教務所では「宗教章」取得を希望する

焼香の作法を練習(書院)

スカウト団員のための研修会を昨年12月16日から今年1月27日まで5回開催。ポイスカウト和歌山連盟に所属する西田圭佑くん(第21団)、植木脩伍くん(第18団)、出口慧吏くん(第18団)が、鷺森別院で「本願寺派仏教章取得のための研修会」を受講した。受講した3人は「本願寺派仏教章」取得に必要なお勤め、荘厳・作法、仏教の教え、釈尊・親鸞聖人の伝記、真宗教義などを学んだ。各回の講義は和歌山教区内の若手僧侶が担当した。

教区門徒総代会が清掃奉仕



和歌山教区門徒総代会(田端三津雄会長)では1月22日、鷺森別院の清掃奉仕を行った。参加した教区内寺院の門徒総代さん27人は、本堂・書院・会議室・トイレなどを清掃、境内では草引きや植え込みの手入れ、ゴミ拾いなどにいそしんだ(写真)。

御影堂内陣のお飾り



厳かに 華やかに



法要に先立ち荻野昭裕副総務(現総務)があいさつ④、天岸浄圓師が記念布教⑤

御影堂にお念仏とお勤めの声響く

慶讃法要2日目、和歌山教区から18カ寺132人が団体参拝



法要出勤のため御影堂内陣を進まれる専如門主

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要2日目の3月30日、和歌山教区の先頭を切って和歌山組養賢寺・浄専寺(7人)、海南組15カ寺(113人)、伊那組浄願寺(12人)の合わせて132人が西本願寺に団体参拝。全国各地から集まった1400人近い参拝者と共に御影堂での法要に臨んだ。荻野昭裕副総務(現総務・海南組浄願寺住職)のあいさつ、天岸浄圓師(大阪教区東住吉組西光寺)の記念布教を聴き、午前10時から法要がスタート。一行は声高らかに正信念仏偈を唱和し、50年に1度のご勝縁を喜んだ。お勤めのあとは専如門主から「親教(お言葉)」を頂いた。

参拝された方々が喜びの感想

遠い過去からの縁喜ぶ
玉置 證(養賢寺住職)
新しいお勤め「新制御本典作法」は、「宿縁讃」の「ああ、弘誓の強縁、多生にも値ひがたく」というお言葉から始まりました。親鸞聖人が「御本典」(教行信証)に、阿弥陀さまの願いである大いなる本願は、いくたび生を重ねても遇えるものではない、と告示しにされたお言葉です。
御影堂には、お念仏のご縁をつくってくださった親鸞聖人のお姿がありました。お念仏しながら、遠い過去からの縁を喜びました。
平和願うご門主に感銘
櫻本 進(浄専寺門徒)
慶讃法要という素晴らしい行事に門徒の一員として参加することができ、お勤めの大唱和、雅楽の演奏に深く感動を受けました。
ご門主が親教のなかでウクライナの現状に言及され、世界に向けて平和を願う旨のお言葉を発せられたことに有り難いお言葉だとひしひしと感銘を受け、私たちの思いをご門主さまがおっしゃってくださいました。心に深く打たれました。
心強かった正信偈の唱和
北野 治(光徳寺門徒)
御影堂にはたくさんの方々が集い、法要の規模にまず圧倒されました。雅楽の厳かな生演奏とともに、お勤めが始まり、音の響きが心にも体にも伝わってきました。正信偈を唱えるときは大勢の方の音が重なり、心強さを感じました。京都国立博物館の「親鸞展」では、数多くの展示のうち親鸞聖人ご自筆の『教行信証』が最も心に残りましました。ご自筆の文字が伸び伸びとして力強かったのが印象的でした。推敲の跡も生々しく残っており、悩みながら思考を重ねられた姿が伺えました。

み教えを一緒に再確認
小川純男(教法寺門徒)
親鸞聖人のみ教えを各地からの多くの皆さまと一緒に再確認し、分かち合える素晴らしい体験をさせていただきました。感謝しています。
ご門主さまが、教団の過去の過ちについて述べられたことにも深い感慨を覚えました。新しい「領解文」は、み教えが分かりやすく説かれ、私たちの生きる指針となるものです。常に唱和し、家族をはじめ多くの人に伝えてゆきたいです。「親鸞展」で拝見した親鸞聖人の肉筆は、800年を超えて聖人さまを身近に感じ、歴代宗主の方々や多くの先人の方々に感謝の気持ちで湧いてきました。
法要の荘厳さに圧倒
今村栄治(慶證寺門徒)
西本願寺参拝は今回で二度目ですが、法要の荘厳さに圧倒されました。門主さまのお話は、私たち一般の者にも大変分かりやすく有り難いお言葉でした。特に今回は、御影堂正面の前から二列目の席でしたので臨場感が最高でした。飛雲閣を拝観した際、たまたま一緒になった他寺院のご住職の説明を聴き感動しました。書院のたたずまいには歴史を感じました。
内陣のお飾り素晴らしい
妻木 茂(弘誓寺住職)
御影堂の内陣はすごく明るく、お華一對と香炉のほかに30程以上はありそうな大きな朱ろうそくが4本も並ぶ「七具足」というお飾りが素晴らしい。ろうそくの炎が数10枚もあろうかと高くゆらゆらと揺らめいていたのが印象的でした。
お勤めは十二礼の節で正信念仏偈を大きな声と一緒に頂き、笙・笛・太鼓などの雅楽演奏でさながらライブステージのようでした。
お浄土に思い馳せた
岡本幸子(西専寺門徒)
記念すべき法要に参拝できたことに喜びと感謝を感じています。厳かな雰囲気の中、雅楽の美しい調べに始まり、正信念仏偈のお勤めは圧巻でした。なぜか私の脳裏には朝夕お仏壇の前でお勤めをしていた祖父の姿が浮かび、お浄土に思いを馳せた時間でした。
飛雲閣は14年前に拝観して以来でしたが、変わらずに美しい姿で今回もカメラに収めました。

夢心地での法要参拝
和本妙子(西法寺坊守)
荘厳な雰囲気の中、雅楽の音色から始まった一時間の法要は、まるでエンターテイナーによるショーのよう、夢心地のうちにあったという間に過ぎました。「親鸞展」では歴史の重みを感じました。個人的にもう一度拝観に行こうと思っています。
伝灯奉告法要に続く法縁
岩崎隆晴(願成寺門徒)
本山の法要参拝は、7年前の伝灯奉告法要に続き二回目の法縁となりました。法要は雅楽が入り、素晴らしいお勤めで感動しました。伝灯奉告法要のときは帰敬式を受式した関係で書院・飛雲閣を拝観できませんでした。今回は、本願寺の歴史の素晴らしさをたっぷりと感じさせていただけました。
「親鸞展」では親鸞聖人ご自筆の本尊やお書物を拝見でき、時を超えて親鸞聖人から直に教えを頂くような尊い経験でした。

法要の荘厳さに圧倒
今村栄治(慶證寺門徒)
西本願寺参拝は今回で二度目ですが、法要の荘厳さに圧倒されました。門主さまのお話は、私たち一般の者にも大変分かりやすく有り難いお言葉でした。特に今回は、御影堂正面の前から二列目の席でしたので臨場感が最高でした。飛雲閣を拝観した際、たまたま一緒になった他寺院のご住職の説明を聴き感動しました。書院のたたずまいには歴史を感じました。
内陣のお飾り素晴らしい
妻木 茂(弘誓寺住職)
御影堂の内陣はすごく明るく、お華一對と香炉のほかに30程以上はありそうな大きな朱ろうそくが4本も並ぶ「七具足」というお飾りが素晴らしい。ろうそくの炎が数10枚もあろうかと高くゆらゆらと揺らめいていたのが印象的でした。
お勤めは十二礼の節で正信念仏偈を大きな声と一緒に頂き、笙・笛・太鼓などの雅楽演奏でさながらライブステージのようでした。
お浄土に思い馳せた
岡本幸子(西専寺門徒)
記念すべき法要に参拝できたことに喜びと感謝を感じています。厳かな雰囲気の中、雅楽の美しい調べに始まり、正信念仏偈のお勤めは圧巻でした。なぜか私の脳裏には朝夕お仏壇の前でお勤めをしていた祖父の姿が浮かび、お浄土に思いを馳せた時間でした。
飛雲閣は14年前に拝観して以来でしたが、変わらずに美しい姿で今回もカメラに収めました。

次ページへ続く

前ページから続く

「親鸞生涯と名宝」に感動

岡本俊史(安養寺門徒)

「親鸞―生涯と名宝」を拝見しました。真宗各派寺院などが所蔵するお仏像・名号本尊・経典・障壁画など宝物110余点が、「親鸞を導くもの―七人の高僧―」「親鸞の生涯」「親鸞と門弟」など七章に分類展示されていました。なかでも目を見張り感動したのは、親鸞聖人が書写された「観

無量寿経註」(国宝)です。観無量寿経を書写し、その行間・欄外など紙面全面にわたってぎっしりと細字で書き込みがしてありました。

書面や書物でここまで文字を書き込んだ物を見たのは初めてで、親鸞聖人が若い頃いろんな修行をするなか、このような学習・研究にも打ち込んでおられたことを改めて知った次第です。

熱いもの込み上げてきた

立花美一(浄國寺門徒)

平成28年

(2016)

の伝灯奉告法要以来、7年ぶりの記念法要の団体参拝でした。御影堂に案内されると、前から三列目で親鸞聖人の御真影が真正面の参拝席となり、ご勝縁の恵み



国宝の唐門をバックに記念撮影(海南組)

後、全国各地から団体参拝

のご門徒の方々による「正信念仏偈」動行のなか、お木像を見上げますと、聖人像がほほ笑みを浮かべ、何かを語り掛けてこられるように感じられ、そのお姿に真に引き込まれていきそうな厳肅な緊張感に浸りました。最後の合掌礼拝後、何かに熱いものが込み上げてきて、浄土真宗のみ教えの尊さを実感し、感慨深いお勤めであったと思えました。門徒として、改めて親鸞聖人ご生涯から今日に至る偉大なる功績、さらには立教開宗800年という歴史の重みに感銘を受けた慶讃法要でございました。

参拝は生涯の思い出に

西川信也(賢寺門徒)

係員の方々がテキパキと動かれて参拝者を誘導、スムーズに御影堂まで案内していただき慶讃法要に参列することができました。法要は実に厳かに執り行われ、生涯の思い出になりました。参拝してすぐよかったと思っています。

「親鸞展」では多くのお

書物やお仏像などを説明書ながら観覧しました。昔から現在に至るまでの時間のつながりなどの思いにふけりながら、時間が経つのを忘れ拜見し、まことに貴重な経験となりました。

団参準備の苦労報われた

辻本頼伸(天専寺住職)

海南組からの団体参拝に当たり、参加者の募集、名簿づくり、帰敬式を受式される方の申し込みなどの準備に多くの時間と労力を費やしました。しかし、御影堂での慶讃法要が終わり、参加された方々の高揚とした姿を見て、そんな苦労も報われた思いがしました。

念願かない帰敬式受ける

辻 昌卓(光明寺門徒)

立派な御影堂で慶讃法要が肅々と営まれました。ご

が

親鸞展のパネルの前で(京都国立博物館)



浄土真宗門徒としての自覚がいっそう高まりました。

気付けば自分もお念仏

道襄繁治(靈性寺門徒)

法要ではお坊さんのお念仏の声のおかげで、気付けば自分の口からもお念仏が親鸞さんは9歳で出家して比叡山に上り修行されたとのことですが、「親鸞展」を拝見すると、そのご苦労がお書きになられたものや御影(肖像画)に描かれた迫力あるお顔に表れているように感じられました。

お念仏の大切さ、子孫に

藤永泰子(浄願寺門徒)

職員の方の案内で中央の最前列に座ることができ感謝です。雅楽演奏の美しい響きに圧倒され、身も心も浄化されていくような心持ちでした。広い御影堂と一緒に参拝された方々と大きな声で正信念仏偈を唱和し、最後には専如門主のお言葉まで頂きました。

子孫にお念仏の大切さを伝え、報恩感謝の生活を送りたいと思います。本当にありがとうございます。

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要御満座の消息

本年3月29日より5期30日間にわたってお勤めしてまいりました親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要は、本日をもってご満座をお迎えいたしました。このたびの50年に一度のご勝縁に国内外より多くの方々にご参拝いただき、厳粛かつ盛大にご法要をお勤めすることができましたのは、仏祖のお導きはもとより、僧侶・寺族・門信徒など有縁の方々のご懇念のたまものと心より感謝申し上げます。

私たちが浄土真宗のみ教えを確かな依りどころとして生きることができるのは、親鸞聖人が『顕浄土真実教行証文類』（教行信証）を著され、『仏説無量寿経』に説き示される阿弥陀如来の本願名号の真実の教えを明らかにされるとともに、聖人のみ跡を慕う多くの先人方が、み教えに生かされる喜びを今日まで大切に伝えてこられたからに他なりません。

私たちは阿弥陀如来の智慧の光明に包まれ、照らし出されることによって、今まで気づかなかった罪業深重・煩惱具足という自身の姿とともに、如来の広大な恩徳を知らされます。そして、このような私たちが、如来に慈しまれていると同時に私の悲しみを如来の悲しみとして受け入れていただけることを信知することで、自身の悪業煩惱を心から慚愧し、少しでも執われの心を離れなければならないと気づかされます。

それは自分だけの安穏を願うような自己中心的な生き方から、人々の苦悩をともしていく生き方への転換であり、そこから大智大悲という如来のお徳を真実と仰ぎ、それに沿うよう努める念仏者の生き方が開かれてきます。そして、その努め励んでいくままが如来のお徳に促され、ご本願に生かされて生きる姿になるのです。

このたびの慶讃法要を機縁として、あらためて「世のなか安穏なれ、仏法ひろまれ」と願われた親鸞聖人のお言葉を深く心に刻み、これからもお念仏を喜び、阿弥陀如来の智慧と慈悲をあらゆる人々に伝えることで、自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に向け、さらなる歩みを続けてまいりましょう。

令和5年・2023年 5月21日

龍谷門主 釋 專 如

ご慶讃法要
満座
専如門主が「ご消息」発布

※「ご消息」は西本願寺ホームページから転載しました

法要の高札が立つ御影堂門



慶讃法要 境内スナップ



法要終了、余韻を胸に御影堂から移動



飛雲閣の前でハイチーズ



仮設テントで憩う



慶讃ムードたっぷりの阿弥陀堂門

郷音流十方

6月中旬 8月の催し

本山

7月20〜22日 朝の法座
(大谷本廟)

8月14日〜15日 盂蘭盆会

8月15日 戦没者追悼法要

和歌山教区

6月16日 少年連盟総会

6月16日 仏教青年連盟総会

6月25日 ビハーラサロン

6月29日 寺族青年連盟総会・研修会

7月8日 仏教青年連盟ホドゲーム会

7月9日 第30回平和を希う念仏者の集い―全戦没者追悼法要―

7月25〜26日 キッズサンガ〜児童念仏奉仕団〜(西本願寺ほか)

得度

2月15日 亀井大慈(日高組長覚寺)

3月15日 下間優樹(和歌山東組信原寺)

平林渉(有田南組福蔵寺)

【訂正】前号で桶山頭也さん(御坊組浄専寺)、近藤生信さん

教師

2月17日 橋本信子(御坊組善妙寺)

津本芳城(御坊組天性寺)

敬弔

小野正治(紀南組勝専寺・前任職) 1月10日

荻野亮子(海草組教蓮寺・住職) 2月23日

湯川由紀(御坊組源行寺・)

坊守) 2月26日

池上みち(御坊組常福寺・坊守) 5月14日

生前のご活躍で尽力に感謝申し上げます。謹んで敬弔の意を表します。

教区内各組

8月21日 ビハーラサロン
※会場は記載がないかきり鷺森別院です。

- 和歌山組**
 - 6月23日 組門徒総代会・組仏教壮年会連盟合同総会(鷺森別院)
 - 7月15日 組寺族青年会総会(念誓寺)
 - 7月22日 第2回組内会・懇親会(アハロー人紀の国)
 - 和歌山東組**
 - 8月中旬 児童養護施設にお供のおすそわけ
 - 和歌山北組**
- 加茂組**
 - 6月25日 組仏教婦人会総会・研修会(正光寺)
 - 7月2日 組門徒総代会総会・研修会(青蓮寺)
- 海南組**
 - 6月17日 実践運動組委員会(光徳寺)
 - 6月24日 組門徒総代会総会・研修会(光徳寺)
- 伊那組**
 - 7月5日 組門徒総代会研修会(光明寺)
- 有賀組**
 - 7月1日 組会(善行寺)
 - 7月22日 組教化団体のあり方を考える会(正善寺)
- 有田南組**
 - 6月26日 慶讃法要推進委員会(浄行寺)
- 海草組**
 - 7月1日 組門徒総代会委員会・総会(報徳寺)
 - 7月8日 組親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要(報徳寺)
- 日高組**
 - 6月17日 組内会(円行寺)
 - 7月16日 組門徒総代会(即生寺)
- 紀南組**
 - 6月14日 組寺族婦人会総会(仏願寺)
 - 6月29日 組門徒総代会総会(浄行寺)
- 有田北組**
 - 6月18日 組仏教壮年部研修会(有田川鮎香屋会議室)
- 善照寺**
 - 7月29日 実践運動組委員会(光徳寺)

2023(令和5)年度 本願寺鷺森別院一般会計歳計予算

2023(令和5)年4月1日
～2024(令和6)年3月31日

歳入の部

款	費目	予算額(円)	説明
1	懇志	7,850,000	各種懇志
2	回付金	3,700,000	特別会計・教区会計より回付
3	各種交付金	200,000	教化助成費等
4	維持費	4,590,000	別院維持費等
5	負担金	26,500,000	人件費負担金※(教区・幼稚園)
6	雑収入	170,000	預金利息等
7	前年度繰越金	7,190,000	
合計		50,200,000	

歳出の部

款	費目	予算額(円)	説明
1	法務費	2,000,000	荘厳費、法要費
2	教化費	1,180,000	常例布教・各種教化費
3	事務費	33,310,000	人件費、水道光熱費等
4	会議費	100,000	責任役員・総代会費等
5	維持費	9,070,000	営繕費、保険料等
6	積立金	1,000,000	営繕積立金・退職積立金へ回付
7	予備費	3,540,000	
合計		50,200,000	

【訂正】前号6面「2021(令和3)年度・本願寺鷺森別院一般会計歳計決算」のなかで、歳入・歳出の部とも「予算額」と記載したのは「決算額」の誤りでした。おわびして訂正いたします。

③面の和歌山教区一般会計歳計予算も併せてご覧ください

オンラインで「公聴会」 7月21日、鷺森別院本堂で



昨年もオンラインで開催された公聴会

和歌山教区における今年度「公聴会」が7月21日午後3時からオンラインで本山と結び鷺森別院本堂で開かれる。北海道教区・高岡教区と同時開催の予定で、宗派からの出向者はない。今回の公聴会は、浄土真宗本願寺派(宗派)が、次の3項目についての説明動画(約45分)を配信し、これを視聴した寺院関係者から広く意見・提言を求めて開催するもの。

①新たにめざす持続可能な宗務組織を構築するための具体策について。
②次期「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) 総合基本計画・重層プロジェクト策定にあたっての現状報告。
③賦課基準の見直しについて(第3次答申)。



神谷暁生新職員



横出顕悟新職員



長瀬理愛新職員



稲田唯純新職員

教務所では、教区内寺院住職・寺族・門信徒の参加を呼びかけている。なお、自宅などからのオンライン参加も可能だが、その場合は発言はできない。希望すれば説明動画を7月1日午前9時から31日午後5時まで視聴できる(教務所での視聴も可能)。

参加および動画視聴希望は、7月18日までにファクスまたはメールで教務所へお申し込みを。

「自坊の都合で通常は午後1時から5時の勤務となりますので、応対できる機会が少ないとは思いますが、誠心誠意やってみようと思います。趣味はジャズドラムの演奏、海外ドラマの鑑賞、ゲーム、絵を描くことです」。

「前職では刑務官をしておりまして、ご縁を頂き鷺森別院で働かせていただくことになりました。同僚の方や別院でお会いする方々は優しく温かい方ばかりで、やりがいを感じながら楽しく働いています。私は今までに踏み込んだことのない世界を知るのが好きで、少しずつではありますが知識を身に付けております。好きなことは運動で、明るく元気に!」が私の掲げる人生の目標です。私に関わってくださる方々をできるだけ笑顔にできるように精いっぱい頑張りますので、よろしく願います」。

「3年9カ月余り勤務した。5月30日付中村美裕(和歌山西組建徳寺衆徒)非常勤職員。2022年(令和4)8月17日から9カ月余り勤務した」。

教務所・別院人事

新職員 ▽昨年4月1日付 神谷暁生(48歳、紀南組勝徳寺住職) 契約職員。一築地別院(現築地本願寺)で1998(平成10)から13年間会計の仕事をした経験と同じ職場の先輩だった升巴教務所長に買われ、週2回(月曜と木曜)出勤して和歌山教区と鷺森別院の会計を担当させていただいております。よろしくお願い申し上げます。

▽昨年12月21日付 横出顕悟(28歳、和歌山北組教務所衆徒) 非常勤職員。

▽2月1日付 長瀬理愛(21歳) 事務員。「前職では刑務官をしておりまして、ご縁を頂き鷺森別院で働かせていただくことになりました。同僚の方や別院でお会いする方々は優しく温かい方ばかりで、やりがいを感じながら楽しく働いています。私は今までに踏み込んだことのない世界を知るのが好きで、少しずつではありますが知識を身に付けております。好きなことは運動で、明るく元気に!」が私の掲げる人生の目標です。私に関わってくださる方々をできるだけ笑顔にできるように精いっぱい頑張りますので、よろしく願います」。

▽3月31日付 藤本英史(和歌山北組正念寺衆徒) 非常勤職員。2019年(令和元)6月25日から3年9カ月余り勤務した。5月30日付 中村美裕(和歌山西組建徳寺衆徒) 非常勤職員。2022年(令和4)8月17日から9カ月余り勤務した。

鷺森別院の催し
常例法座 6月15、16日 眞野順之師(彦根市薩摩町・善照寺)。7月15、16日 尾崎道裕師(奈良県吉野郡下市町・實原寺)。いずれも午後1時30分から

お勤め、引き続き3時ごろまで法話を聴聞する。
孟蘭盆会 8月15、16日、午後1時30分から正信念仏偈作法第二種をお勤め引き続き3時ごろまで永原智行師(日高郡由良町・教専寺)の法話を聴聞する。

日高別院の催し
永代経 6月18日、午後1時から本堂で仏説阿弥

(本願寺鷺森別院 和歌山市鷺森1番地 電話073-4221-4677)
陀経をお勤めし、引き続き2時15分まで眞野順之師(彦根市薩摩町・善照寺)の法話を聴聞する。
(本願寺日高別院 御坊市御坊100番地 電話0738-221-0518)

つれもて 聴こら

宗祖親鸞聖人は立教開宗の根本聖典と呼ばれる『顕浄土真実教行証文類』というお書物をお書きくださいました。浄土真宗の教義体系が示されており、別名を『教行信証』とも呼ばせていただきます。

岩崎法明

こし、それを信じ、結果を得るといふ順番ですが、皆さんこの順番に違和感を覚えませんか。普通はどうでしょう。教えを信じる心が



「教行信証」はお救いのプラン

1歩)とおっしゃいます。私たちの心はずぶひっくり返りますし、うそ偽りにもなっていくですよ。ところがこの信は「浄らかな信」だとおっしゃるんです。

実は「教行信証」という順番は、阿弥陀さまが私たちをお救いくださるためのプランなんです。

仏説無量寿経という「教」は、阿弥陀さまの「行」である南無阿弥陀仏を説くためのものであります。阿弥陀さまは南無阿弥陀仏と私の口にかかって、「われにまかせよ必ず救う」というそのお心を届けてくださっ

よって浄土参りという「証」が定まります。つまり、これらの「行」も「信」も「証」も私の側のものではなく、阿弥陀さまが何から何まで私たちのためにご用意くださったということなんです。私たちは「南無阿弥陀仏」と届いてくださっているそのはたらかしを素直に「うん、うん」と頂いていくだけなんです。

飛行機は自動車より圧倒的に事故の確率が低いといわれますが、墜落する可能性がゼロでない以上、絶対安心ではありません。しかし、墜落する心配がなくなり安心して飛行機が着陸して地面に引付いたときです。阿弥陀さまは南無阿弥陀仏となって、もう私を離れない仏さまです。ですから心配りません。南無阿弥陀仏のはたらきのなかで安心してお浄土への人生を歩ませていただくのです。

『教行信証』の「教」とは教えることであり、お釈迦さまの説かれた仏説無量寿経を表します。「行」は

先にあり、それから行動に移すのではないのでしょうか。私は5年ほど前に体重が98キまでいきまして、ダイ

した。その結果、体重がだんだんと減ってきました。このダイエットは、初めにこの方法で痩せると信じて、次に行動に移したわけ

うのは非常に कोरोと変わりやすいものです。「教行信証」という順番になつてるときの「信」は、

阿弥陀さまから頂く浄らかな信

行いや行動を表します。そして「信」は信じることを表し、最後の「証」は結果、つまりおさとの境地を表しております。

教えがあつて、行動を起

エットを始めました。しんどい思いはしたくなかったので、テレビで紹介されていたエゴマ油を毎朝スプーン1杯飲み、ご飯を少なくしてもち麦を混ぜて食べま

です。つまり先に「信」があるからこそ「行」に移ったわけです。「教行信証」といふ順番ですね。しかし、よく考えてみると、私のこの信じる心とい

私たちが自分で信じているとは違ふんです。親鸞聖人は『教行信証』の信文類に「たまたま浄信を獲は、この心顛倒せず、この心虚偽ならず」(註釈版聖典21

TERAMATE
ボードゲーム会

7/8 9/9 11/11 12/9
来年2/10 10:00~16:00

教区仏教青年連盟では、お寺(TERA)で仲間(MATE)をつくるきっかけになればと、上記日時、鷺森別院でボードゲームを楽しんでいます。お気軽にご参加ください。

ています。それによって私の心に「信」が開発されていく。信心を安心ともいいます。そしてその「信」に

(日高郡由良町里・蓮専寺) 3月15、16日の鷺森別院常例法座の法話から